

高齢者消化器癌手術患者の予後因子の検討

研究実施許可日から 2024 年 12 月 31 日までに消化器癌に対して手術が行われた患者さん

研究協力をお願い

当科では「高齢者消化器癌手術患者の予後因子の検討」という研究を行います。この研究は、ご高齢の患者さんの手術成績にどのような因子が影響しているのかについて調べる研究で、2024 年 12 月 31 日までに河北総合病院消化器外科で消化器癌に対して手術を受けた患者さんのデータを解析します。研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：高齢者消化器癌手術患者の予後因子の検討
研究期間：倫理委員会承認日～2029 年 12 月 31 日
当院における研究責任者：河北総合病院 消化器外科 園田 寛道

(2) 研究の意義、目的について

日本では高齢者が急激に増加しており、それに合わせて胃癌、大腸癌といった消化器癌にかかり、手術が必要になる患者さんが増加しています。高齢者の患者さんは癌以外に様々な病気を持っている患者さんも多く、手術の危険性が高いです。しかし、高齢者の患者さんにどこまで手術をすべきかについては明確なガイドラインは存在しません。今回、当科では消化器癌に対して手術を行った患者さんを対象として、様々な因子と生存率、術後合併症発生率との関連を調べて予後因子を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類について）

2024 年 12 月 31 日までの間に河北総合病院消化器外科にて手術が行われた患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：なし

情報：年齢、性別、術式、手術時間、出血量、術後合併症の有無、生存率、等

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

なし

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

河北総合病院 消化器外科 主任部長 園田 寛道
〒166-8588 東京都杉並区阿佐谷北 1-7-3
電話番号：03-3339-2121（代表）
メールアドレス：h-sonoda@kawakita.or.jp